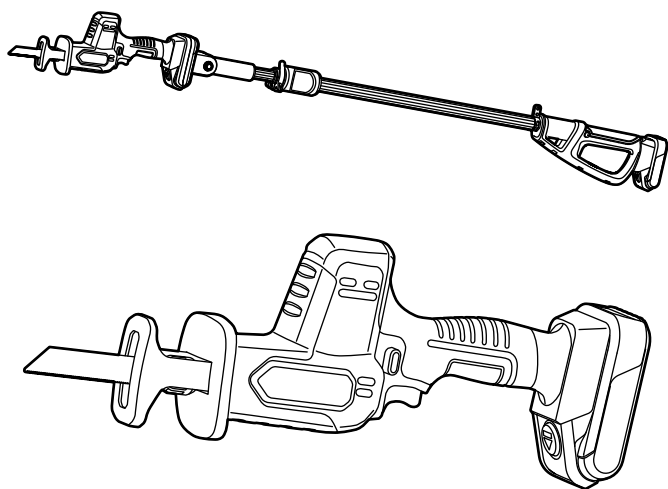


スマートコーシン

共通バッテリーシリーズ

KOSHIN



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ・ご使用前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- ・お読みになった後も保管してください。
- ・取扱説明書を理解していない人は、本機の操作を行わないでください。
- ・本機を他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

なお、保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けておいてください。

動画をご覧ください。



- ・動画の内容は予告なく変更・削除されることがあります。
- ・Web通信料金はおお客様のご負担となります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

SRS-180W

18V Li-ion

充電式 2WAY レシプロソー 取扱説明書 (保証書付)

用途

枝・高枝・木材・合成樹脂・金属
の切断

用途以外の目的に使用しないでください

目次

はじめに	
各部の名称	2
パーツのご注文は	3
安全上のご注意	4
準備	
ご使用になる前に	11
運搬する場合には	19
定期点検を行いましょう	20
使用方法	
切断をする	21
使用後は	24
保守・点検	
保守・点検について	25
「故障かな？」と思ったら (故障と処置)	26
その他	
主な仕様	27
保証書	28

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

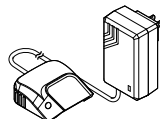

株式会社 **工進**

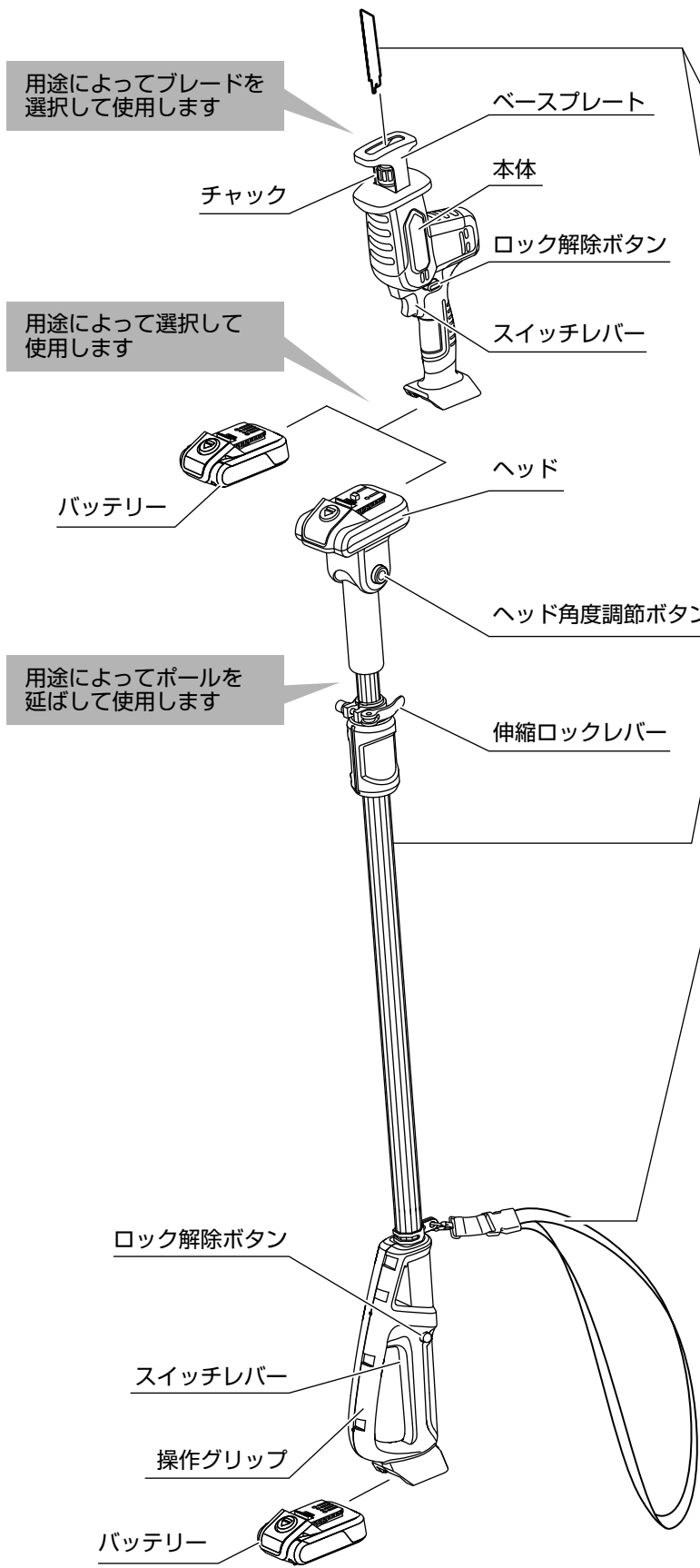
22-09 056161301

各部の名称

同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。
特に記載の無いものは各1点です。

<標準付属品表>

名称・イラスト	
木材用ブレード (PA-507)	
金属用ブレード (PA-508)	
保護メガネ	
ポール	
肩掛けバンド	
18V 急速充電器 II (PA-430)	
18V バッテリー (2.0Ah) (PA-332)	



18V 急速充電器 II と 18V バッテリー (2.0Ah) は付属していない機種もあります。

パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。

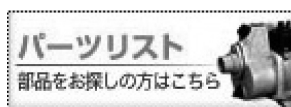
また、下記に記載の無いものも併せて、弊社公式 Web サイトにてパーツ表、価格をご覧いただけます。

ご注文時のお願い 部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

パーツ表・価格 1) <http://www.koshin-ltd.co.jp> へアクセス



2) トップページ「パーツリスト」バナーをクリック



主なパーツ

名称	機種名・JAN	備考
18V バッテリー (2.0Ah)	機種名 : PA-332 JAN : 4971770-560154	専用充電器 : PA-430, 333
18V バッテリー (2.5Ah)	機種名 : PA-380 JAN : 4971770-560192	専用充電器 : PA-430, 333
18V 急速充電器 II	機種名 : PA-430 JAN : 4971770-560727	—
木材用ブレード	機種名 : PA-507 JAN : 4971770-561601	全長 : 150mm 切断能力 : 70mm 以下 用途 : 木材・金属・合成樹脂 (17 ページ〈切断できる材料について〉参照)
金属用ブレード	機種名 : PA-508 JAN : 4971770-561618	全長 : 150 mm 切断能力 : 70 mm 以下 用途 : 金属・合成樹脂 (17 ページ〈切断できる材料について〉参照)

はじめに

準備

使用方法




保守・点検

その他

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。









 危険	人が死亡、または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 警告	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 注意	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容を区分して説明しています。


 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

- その他の表示：**取り扱いのポイント** …正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。


危険


 部品類は必ず取扱説明書に従って確実に取り付ける	 次のときは本機を使用しない ・ 疲れているとき、身体が不調のとき。 ・ 酒類や薬を飲んで正常な運転操作ができないとき。 ・ 夜間や悪天候などで視界が悪いとき。
 2人以上で作業を行うときは作業員から十分な間隔を取る	 爆発物や可燃性の液体、ガス、粉じんのある場所では使用しない
 使用する前に必ず周囲に人や動物がいないことを確認する 高所作業のときは、下に他の人や動物がいないことを確認する	 充電器の電源プラグに合わない電源コンセントは使用しない また、電源プラグは改造しない 火災や感電の原因になります。
 高所（高さが2mを越える箇所）で作業を行う時は、高所作業用の機器を活用し安定した足場を確保する また安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかり固定する	 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させない 感電の原因になります。


 **警告**


 子どもおよび取扱説明書を理解していない人は、本機を使用しない


 妊婦は本機を使用しない


 バッテリーを取り付ける際は、スイッチレバーに手を触れない
電源が入った状態でバッテリーを取り付けると、不意の始動により事故の原因になります。


 バッテリーを取り付ける前に、工具などは必ず取り外す
電源を入れたときに取り付けた工具などが動き、ケガの原因になります。

 スイッチに異常がないか点検する
スイッチで始動および停止操作のできない場合は、使用せず修理をご依頼ください。そのまま使用すると、事故の原因になります。また、本機の寿命を縮めます。


 作業場は明るく、また整理整頓する
作業場が暗く、また散らかっていると事故の原因になります。


 作業場所付近に、電線や電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確認する
誤って電線を切断すると、感電のおそれがあります。本製品は感電防止の絶縁処理は行っていません。


 周囲に次のものがないことを確認してから作業する
・ 通電している電気設備・機械本体。
・ 火気のあるもの。
・ 鋭利なものなど飛ぶと危険なもの。


 スイッチレバーに指をかけて運ばない


 運搬時、保管時はブレードを取り外す


 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、傾斜地・ハシゴや木に登るなどの不安定な場所では使用しない
転倒してケガの原因になります。


 切断する枝の真下付近には立たない
切断した枝が真下に落ちたり、本機を倒してしまったりした際に人にあたるとケガの原因になります。


 使用中および運転を停止した直後は刃に手足や顔などを近づけない
刃はすぐに止まらないので、ケガをするおそれがあります。

 髪、衣服、手袋などをブレードや本体開口部に近づけない
手ぬぐいやタオルを首や腰から下げて作業しない
巻き込まれ、ケガの原因になります。













 本機でぬれた草や木や枝を切らない
本機を雨の中で使わない、水洗いしない（水洗い可能な部品を除く）

 ブレード先端部での切断はしない
ブレード先端部を枝や地面などに触れさせない














 作業時に適した服装で作業する
長い髪は束ね、帽子やヘアカバーなどで覆う
(21 ページ「服装について」参照)
巻き込まれケガの原因になります。

 本機が動かない、発熱や発煙、また音や振動など異常を感じたときは、直ちに使用を中止しバッテリーを取り外す
本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

警告

-  使用中にブレードが石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べる
そのまま使用すると事故の原因になります。
-  取り扱い方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業する
-  切り落とし寸前や切断中に材料の重みでブレードが材料に挟み込まれないよう注意する
-  本機、充電器やバッテリーに幼児や子ども、動物が触れないよう、隔離措置をする
-  本機、付属品や工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて使用する
指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
-  本機の能力に合った負荷（切断対象、運転時間など）で作業する
無理な作業は事故の原因になります。また、作業能率が悪くなります。
-  ロック解除ボタンを押した状態で固定しない
-  取扱説明書に記載されている内容以外の分解や改造、修理は絶対に行わない
-  本機を雨の中やぬれた場所、湿気の多いところに保管しない
-  使用しない本機は、安全に屋内に保管する
(24 ページ「保管」参照)
-  使用前および定期的に保守点検を行う
 - ・ 可動部分の位置調整およびネジなどの締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。また、正常に作動するか、所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 本機は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 安全に能率良く作業していただくために、使用後は刃物類の付着物を取り除き、きれいな状態を保ってください。(20 ページ「定期点検を行いましょう」参照)
-  点検の際は、バッテリーを本機から取り外す
本機が誤始動し、ケガの原因になります。

⚠ 注意

-  極端な高温や低温の環境下では使用しない
十分な性能を得ることができません。
-  使用前にネジのゆるみや欠落した部品、破損などがないか確認し、異常がある場合は使用を中止する
不完全な本機を使用するとケガの原因になります。
-  ぶついたり落としたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する
破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。
-  使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認する
不完全な状態の本機を使用するとケガの原因になります。
-  万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場近くに備え付ける
救急箱から持ち出したものは、直ちに交換品を補充してください。
-  屋外に長時間放置しない
-  本体に過度の衝撃を加えない
-  使用中に本体に物がかぶせない
故障の原因となります。
-  充電器およびバッテリーの端子に手を触れない
感電のおそれがあります。また、充電器およびバッテリーが静電気により破損する可能性があります。
-  無理な体勢で作業をしない
足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。
-  運搬時はバッテリーを取り外す
取り付けたまま運搬すると、破損や金属端子のショートの原因となります。
-  定期的に休息をとる
本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。
-  純正品、指定部品を使用する
事故やケガの原因になります。

バッテリー・充電器について

⚠ 危険

■ ご使用上の注意

- バッテリーは、本機および指定の充電器専用です。指定機器以外の用途に使用すると、バッテリーに異常な電流が流れるなどの可能性があります。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ご使用の際は、次のことを必ず守ってください。発熱、破裂、発火の原因になります。
 - 水・海水などでぬらさない。
 - ストーブなどの熱源のそばや自動車内に放置しない。
 - 分解、改造しない。
 - 火の中に投入したり、加熱したりしない。
 - 強い衝撃を与えない。

■ 充電時の注意

- 弊社指定の充電器・バッテリーを使用し、弊社指定の充電条件を守ってください。その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧や大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーはプラスとマイナスの向きが決められています。充電器や機器への取り付けがうまくいかない場合は無理に取り付けしないでください。充電器にプラスとマイナスを逆に付けると、バッテリーが逆に充電され内部で異常な反応が起こり、バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になります。
- 火のそばや、炎天下の自動車内などで充電しないでください。高温になると充電出来なくなったり、異常な電流や電圧で充電されたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。

⚠ 警告

■ ご使用上の注意

- バッテリーや充電器を電子レンジや高圧容器に入れないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリー使用時や充電時、保管時に異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついた時は、本機あるいは充電器よりバッテリーを取り外し使用しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーが漏液したり異臭がしたりする時は直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると目に障害を与えるおそれがあります。
- バッテリーを運ぶときは収納するケースの中でバッテリーが動かないようにしっかりと固定し、端子部に金属などが接触しないように保護してください。破損や金属端子がショートするおそれがあります。
- バッテリーと充電器の接続部、充電端子部や内部、電源プラグに金属製の工具やピンをさし込んだりゴミを付着させたりしないでください。ショートやトラッキング*により発煙、発熱、破裂、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。発火の原因になります。
- むれた手で充電器の電源プラグの抜き差しをしないでください。また電源プラグは根元まで確実にさし込んでください。感電や発火の原因になります。
- 充電器をコンセントから抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。コードがショートし発火や感電のおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

■ 取り扱いについて

- 充電器の電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。ほこり等がたまるとトラッキング*が発生して発火の原因になります。
- 充電器の電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、物を載せたりしないでください。電源コードの破損やショートなどにより、発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
- バッテリー、充電器は、乳幼児・子どもの手の届かないところに置いてください。不用意な取り扱いをすると危険が伴います。

■ 充電時の注意

- 充電器の電源プラグに合わないコンセントやさし込みのゆるいコンセントは使用しないでください。ショート、発火し、感電、ヤケドの原因になります。
- 充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は充電を停止してください。バッテリーが発熱、破裂、発火するおそれがあります。
- この充電器は指定のリチウムイオンバッテリー専用です。他のバッテリーの充電や充電以外の用途には使用しないでください。充電器や接続されたものが発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドのおそれがあります。
- 必ず指定された電源を使用してください(27ページ「主な仕様」参照)。他の電源で使用すると、充電器に過大電圧が加わったり過大電流が流れたりし、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や、充電器の発煙、発熱、発火による感電、ヤケドの原因になります。
- 使用環境温度範囲以外での充電はバッテリーを発熱、破損させる原因やバッテリーの性能や劣化につながるおそれがあります。バッテリーの使用環境温度範囲は27ページ「主な仕様」をご覧ください。

※トラッキング…コンセントとプラグの隙間にほこりが溜まり、そのほこりが空気中の湿気を吸収することで、漏電し発火する現象のこと。

⚠ 注意

■ 充電時の注意

- バッテリーの充電中に、可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください。発熱、破裂、発火するおそれがあります。

■ 取り扱いについて

- バッテリーが漏液して液が皮膚や衣服に付着した時は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれるなどのおそれがあります。
- 直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高温になる場所に放置しないでください。バッテリーが漏液するおそれがあります。
- 充電器およびバッテリーの端子に手を触れないでください。感電のおそれや静電気によるバッテリーの破損のおそれがあります。
- 湿気やほこりの多い場所で使用または保管しないでください。発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドのおそれがあります。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による漏電、発火し、感電、ヤケドのおそれがあります。
- 異常を感じたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドのおそれがあります。
- 充電器の上に物を載せたり、落下しやすいところに置いたりしないでください。外部の力や衝撃で内部回路が破損し、使用時に発煙、発熱、発火し、感電、ヤケドのおそれがあります。

安全上のご注意

取り扱いのポイント

- 取扱説明書に記載している充電時間以上の充電をしないでください。
- 充電完了後は、充電器からコンセントを抜いてください。
- 本機を使わないときや充電後、バッテリーは機器から取り外し、直射日光が当たらず涼しく、湿気の少ないところに保管してください。
- 長期間ご使用にならなかったバッテリーは十分に充電されないことがあります。長期間使用しない場合でも、1年に1度は充電してください。
- バッテリー端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。
- バッテリーからの異臭や液漏れがないかを定期的に確認してください。

■ バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。機器の使用時間が短くなった時は、新しいバッテリーとお取り替えください。

■ 延長コードについて

延長コードを使用する時は、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

〈使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と長さの目安〉

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの長さの目安
2.0mm ²	30m まで

ラベルのメンテナンス

- 本機には、ラベルが貼付されています。ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合には購入店に注文し、貼りかえてください。

整備について

本機は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。修理の知識や技術が不十分な方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガのおそれがあります。

- 本機、充電器、バッテリーの分解、修理、改造をしないでください。発火や異常動作により、事故やケガのおそれがあります。
- 発熱や異常に気づいたときは、直ちにバッテリーを取り外したうえで点検・修理に出してください。点検・修理は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

ご使用になる前に

充電について

お買い上げ時や長期間充電しなかった場合は、ご使用前に満充電になるまで正しく充電してください。バッテリーがすでに満充電のときは、充電器のランプは赤点灯（充電中）にならず緑点灯（満充電）のままです（次ページ参照）。

取り扱いのポイント

- バッテリーの温度が適切でないと充電ができないことがあります。バッテリーが高温の場合は、風通しの良い日陰などに置いていったん冷ましてください。
- 充電中にバッテリーや充電器が温かくなりますが、異常ではありません。

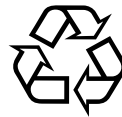
バッテリーを長持ちさせるには

- 本機の力が弱くなってきたと感じたら使用を中止し、充電してください。
- 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は使用環境温度 5 ~ 40°C の範囲で行ってください。
- 長期間ご使用にならない場合、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しています※。本誌裏表紙に記載の「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

※工進商品のバッテリーに限ります



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

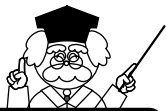
Li-ion

⚠注意

- ⊘ 本機および充電器を廃棄するとき、バッテリーを取り付けたまま一般家庭ゴミとして廃棄しない

バッテリーの寿命について

- バッテリーは充放電を繰り返すと次第に容量が少なくなり、交換が必要になります。これはバッテリーの特性によるものであり、故障ではありません。満充電後も作業できる時間が短くなるようであれば、バッテリーを交換してください。
- リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果（継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリー残量が見かけ上、低下する現象）がないため、タイミングを気にすることなく、いつでも継ぎ足し充電ができます。
- 寒い環境ではバッテリーの容量が少なくなり、作業時間が短くなることがあります。暖くなる（バッテリーが適温になる）と回復します。
- バッテリーは使用しなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用前に充電すれば回復します。

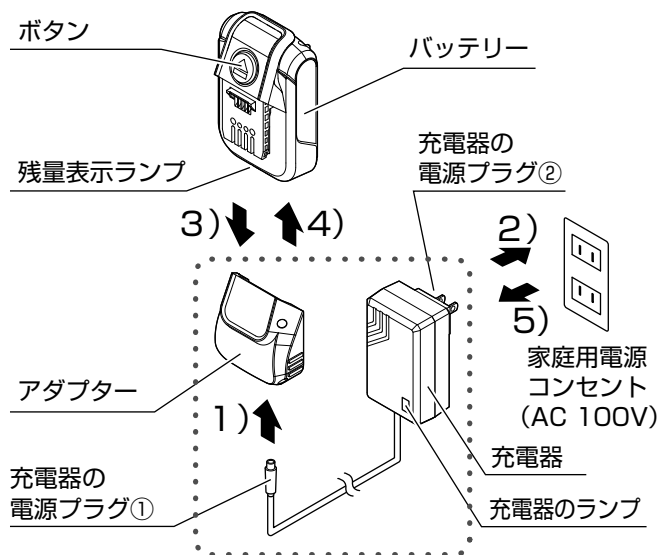


バッテリー・
充電器の
豆知識

ご使用になる前に

充電のしかた

- 1) 充電器の電源プラグ①をアダプターにさし込む。
- 2) 充電器の電源プラグ②をコンセントにさし込む。
充電器のランプが緑点灯します。
- 3) バッテリーをアダプターに取り付ける。
充電器のランプが赤点灯に変わり、充電開始をお知らせします。
ランプが赤点灯から緑点灯に変われば充電完了です。
- 4) 充電が完了したら、ボタンを押しながらバッテリーをアダプターから取り外す。
- 5) コンセントから充電器の電源プラグ②を抜く。



※充電完了後、バッテリーはアダプターから取り外してご使用ください。

〈充電器のランプの見かた〉

充電器	状態
■ 緑点灯	充電していない
■ 赤点灯	充電中

注1) 充電器のランプが緑点灯から赤点灯に変わらないときは、すでに満充電の可能性がります
バッテリーの残量確認ボタンを押し、バッテリー残量を確認してください。

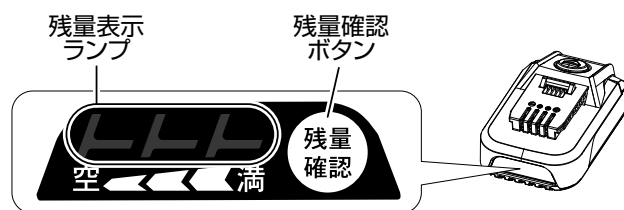
注2) バッテリーが高温(使用直後や、暑い自動車内に保管したときなど)の場合、充電できないことがあります
風通しの良い日陰などに置いてバッテリーを冷ましてください

注3) 充電器のランプが点灯しないときは、充電器の故障が考えられます
本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください

〈バッテリーの残量表示ランプの見かた〉

バッテリーの残量確認ボタンを押している間、バッテリー残量に応じてランプが白点灯します。

残量表示ランプ	状態				
<table border="1"> <tr> <td>↖ 点灯</td> <td>↗ 消灯</td> </tr> </table>	↖ 点灯	↗ 消灯			
↖ 点灯	↗ 消灯				
<table border="1"> <tr> <td>↖↖↖</td> <td>2~3個点灯</td> </tr> <tr> <td>↖↖↖</td> <td>空 ← 満</td> </tr> </table>	↖↖↖	2~3個点灯	↖↖↖	空 ← 満	使用可能
↖↖↖	2~3個点灯				
↖↖↖	空 ← 満				
<table border="1"> <tr> <td>↖↖↖</td> <td>1個点灯</td> </tr> <tr> <td>↖↖↖</td> <td>空 ← 満</td> </tr> </table>	↖↖↖	1個点灯	↖↖↖	空 ← 満	充電が必要です
↖↖↖	1個点灯				
↖↖↖	空 ← 満				
<table border="1"> <tr> <td>↖↖↖</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>↖↖↖</td> <td>空 ← 満</td> </tr> </table>	↖↖↖	消灯	↖↖↖	空 ← 満	使用不可
↖↖↖	消灯				
↖↖↖	空 ← 満				



注1) バッテリーが高温(暑い自動車内に保管したときなど)の場合、残量があっても動作しないことがあります
風通しの良い日陰などに置いてバッテリーを冷ましてください

注2) ボタンを押しても残量表示ランプが点灯しないときは、故障が考えられます
本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください

ご使用になる前に

バッテリーの取り付け・取り外し



警告



バッテリーは本機に確実にしっかり取り付ける

取り付けが不十分な場合、外れて事故の原因になります。



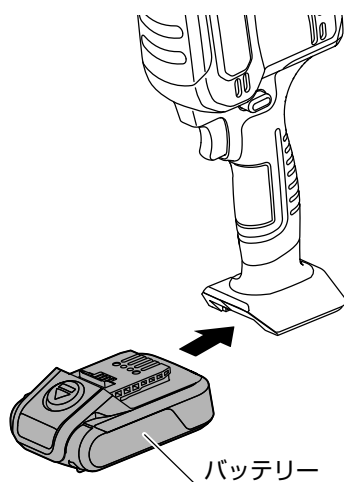
バッテリーを取り付けた後は、ベースプレートとチャックの間に絶対に指を入れない

誤作動した際にケガのおそれがあります。

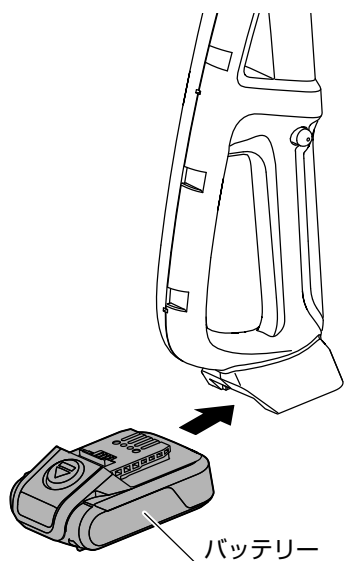
バッテリーの取り付け方

バッテリーを本機に取り付けるときは、本機の溝に合わせ「カチッ」と音がするまでさし込んでください。軽く引いて抜けないことを確認してください。

〈本体に取り付ける場合〉



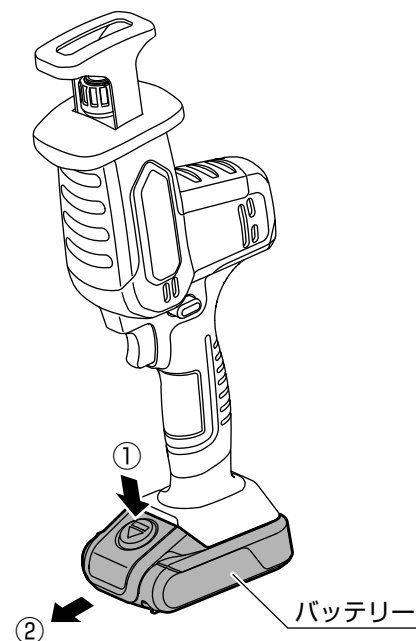
〈ポールに取り付ける場合〉



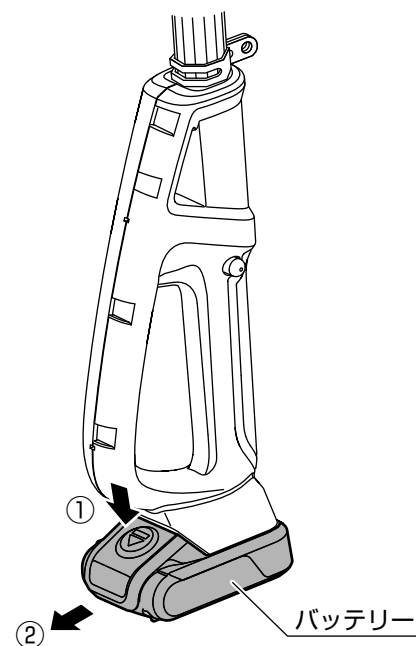
バッテリーの取り外し方

バッテリーを本機から取り外すときは、バッテリー正面のボタンを押しながら①スライド②させます。

〈本体に取り付ける場合〉



〈ポールに取り付ける場合〉



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

ご使用になる前に

ポールの取り付け・取り外し

⚠注意

- ❗ バッテリーは本機から必ず取り外して行う
ブレードが不意に動きケガの原因になります。

取り扱いのポイント

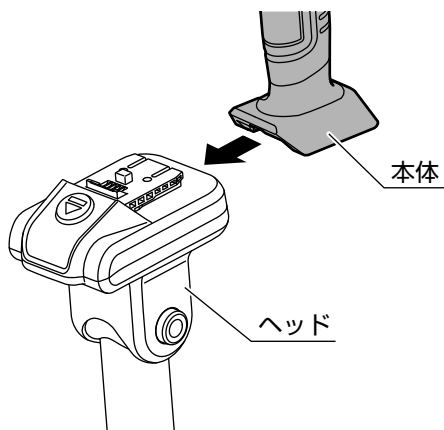
- ・ 付属のポールは本製品専用です。
他の製品を取り付けることはできません。

本体へのポールの取り付け、取り外しは、次の手順で行ってください。

ポールの取り付け方

- 1) ヘッドに本体を取り付ける。

しっかりと取り付けられていることを確認してください。



⚠警告

- ❌ 本体とヘッドの接続部に金属製の工具
やピンをさし込んだりゴミを付着させ
たりしない
ショートやトラッキングにより発煙、発
熱、破裂、発火し、感電、ヤケドの原因
になります。

- 2) 本体にブレードを取り付ける。

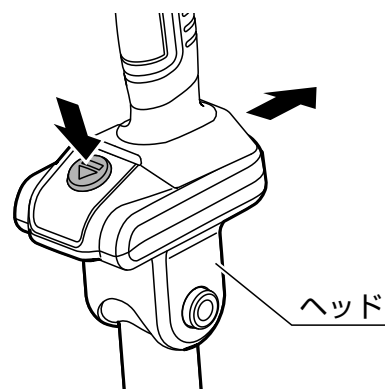
(17 ページ「ブレードの取り付け方」参照)

- 3) ポールにバッテリーを取り付ける。

ポールの取り外し方

- 1) ポールからバッテリーを取り外す。
- 2) 本体からブレードを取り外す。
- 3) ヘッドから本体を取り外す。

ヘッド正面のボタンを押しながらスライドさせ、取り外します。



ご使用になる前に

ポールの長さ調節方法

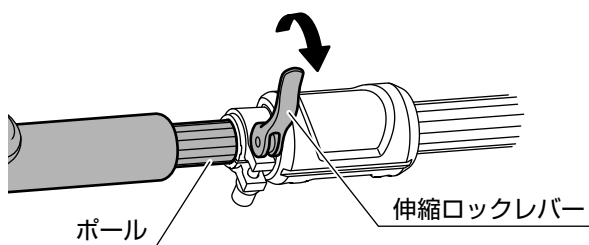
⚠️ 注意



本機を横にして作業を行う

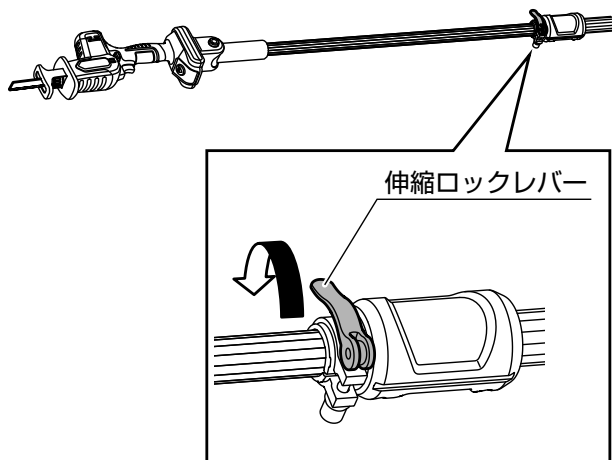
本機を立てた状態で作業を行うと、ヘッドが不意に動くことがあり、ケガの原因になります。

1) 伸縮ロックレバーを開く。



2) ポールをスライドさせ、使用したい長さに合わせる。

3) 伸縮レバーを閉じ、しっかりとロックする。

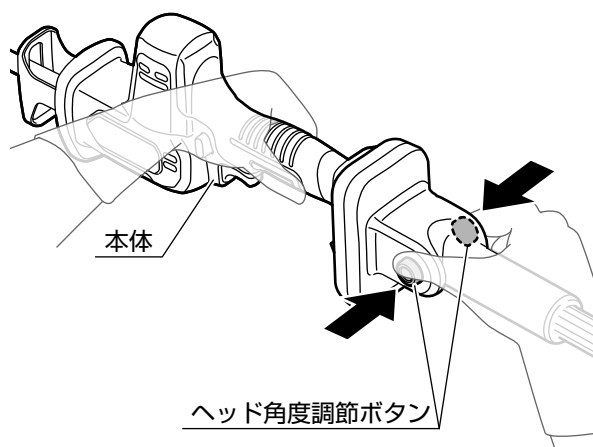


ヘッドの角度調節方法

1) ヘッド角度調節ボタンを両側から押しながら、本体を動かす。

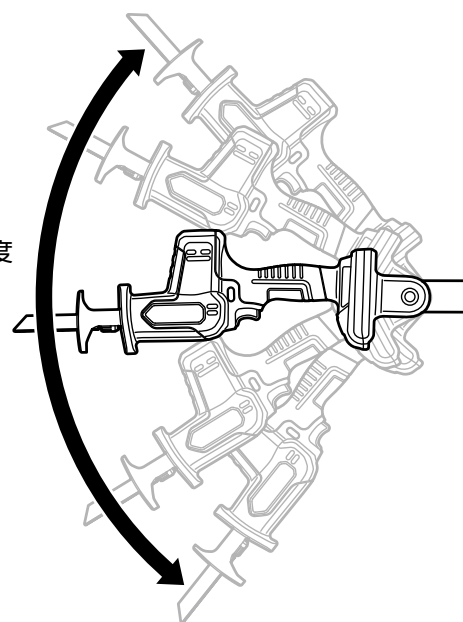
安全のため、角度調節の際にはブレードに触れず、本体を持って行ってください。

2) ヘッド角度調節ボタンから手を放し、「カチッ」と音がしてヘッドの角度が固定されたらヘッドから手を放す。



角度調節範囲

約 100 度



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

ご使用になる前に

肩掛けバンドの使い方

肩掛けバンドを使用することで、より安定して作業を行うことができます。

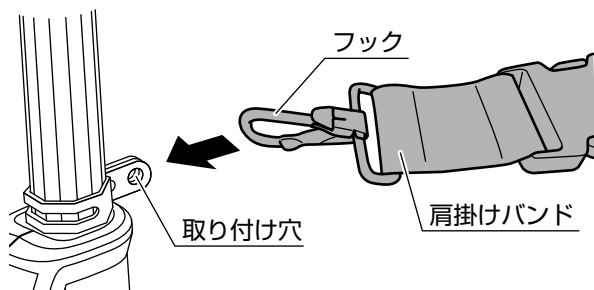
⚠ 警告

- ❗ 危険を感じたときは直ちにスイッチレバーから手を離し、肩掛けバンドを離脱させ本機を身体から離す
- ❗ 作業時以外は肩掛けバンドを本機から外す

肩掛けバンドの取り付け方

- 1) 肩掛けバンドのフックを肩掛けバンド取付具の取り付け穴に通す。

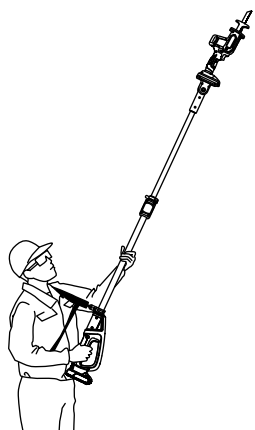
肩掛けバンドを軽く引いてフックが外れたり、本機が落下したりしないか確認してください。



本機運転中の使い方

- 1) 肩掛けバンドを左肩に掛ける。
- 2) 肩掛けバンドを使いやすい長さに調整する。

肩掛けバンドを軽く引いてフックが外れたり、本機が落下したりしないか確認してください。



取り扱いのポイント

- ・ヘソの前あたりに操作グリップが来るように、肩掛けバンドを短めに調節してください。

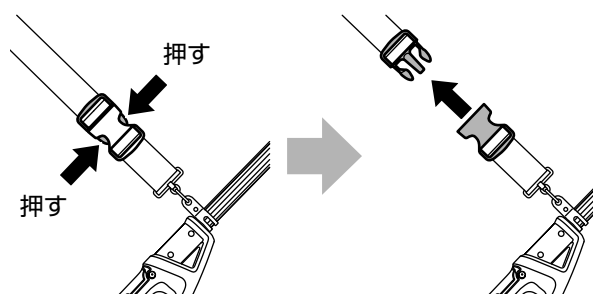
離脱のしかた

離脱するときは次のようにしてください。

⚠ 警告

- ❗ 離脱の際は、スイッチレバーから手を放し、本機および周囲に注意する

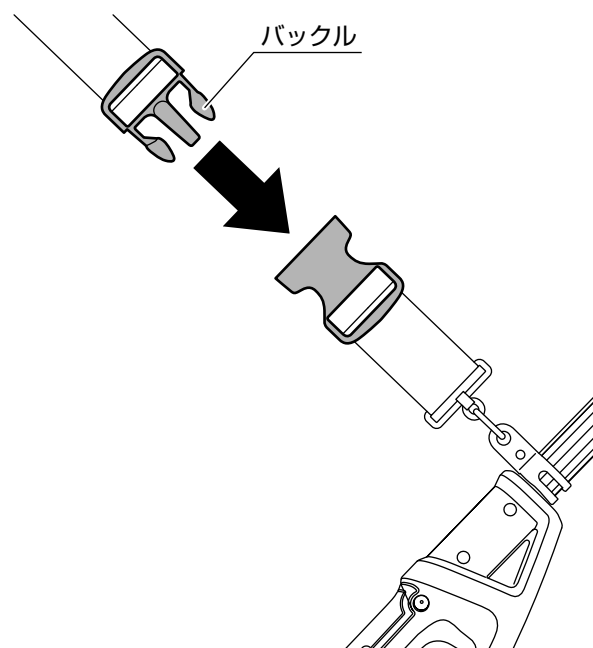
- 1) スイッチレバーから手を離し、ポールを手で支えながら、バックルの両側を押す。



結合のしかた

離脱した後は図のように肩掛けバンドを結合してください。

- 1) バックルの先を「カチッ」と音がするまでさし込む。





ブレードの取り付け・取り外し

⚠️ 注意

- !** バッテリーは本機から必ず取り外して行う
ブレードが不意に動きケガの原因になります。
- !** 作業時は必ず手袋を着用する
ケガをするおそれがあります。
- !** 金属部が冷えていることを確認してから
作業を行う
金属部が高温のまま作業を行うと、ヤケドのおそれがあります。

切断する材料に合ったブレードを使用してください。

〈切断できる材料について〉

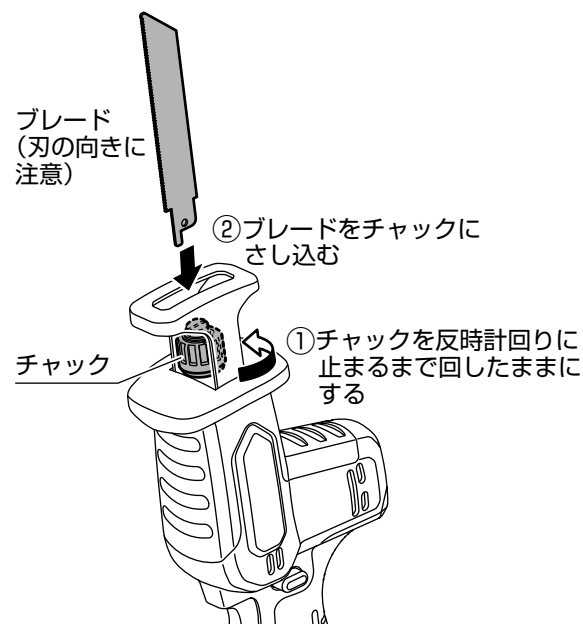
ブレード	切断する材料
木材用 (厚さ 4mm 以上)	木材
	釘入り木材
	合成樹脂 (塩化ビニール・ベークライトなど)
	パイプ
	アルミ
	軟鋼
金属用 (厚さ 4mm 以下)	合成樹脂 (塩化ビニール・ベークライトなど)
	パイプ
	アルミ
	軟鋼

ブレードの取り付け方

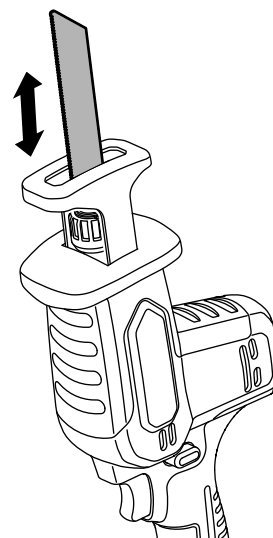
- 1) バッテリーが本機から外れていることを確認する。
- 2) チャックを反時計回りに止まるまで回したまま、ブレードが突き当たるまでさし込む。
- 3) ブレードがしっかり奥まで入っていることを確認し、チャックからゆっくりと手を放す。
チャックはバネの力で元の位置に戻ります。

取り扱いのポイント

- ・ブレードをさし込む際は、チャックを回したままにしてください。
- ・ブレードは突き当たるまでさし込んでください。



- 4) ブレードを引いて外れないことを確認する。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

ご使用になる前に

ブレードの取り外し方

ブレードの取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。

取り扱いのポイント

- ・ブレードを取り外す前に、ブレード取り付け部周辺の切粉やゴミをブラシまたはエアで取り除いてください。
 - ・ブレードの刃先、切粉に注意してください。
- 1) バッテリーが本機から外れていることを確認する。
 - 2) チャックを反時計回りに止まるまで回したまま、ブレードを引き抜く。
 - 3) ブレードを引き抜いたらチャックからゆっくと手を離す。
チャックはバネの力で元の位置に戻ります。

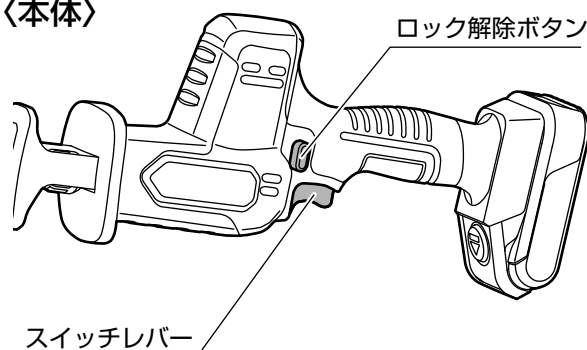
スイッチの操作方法

警告

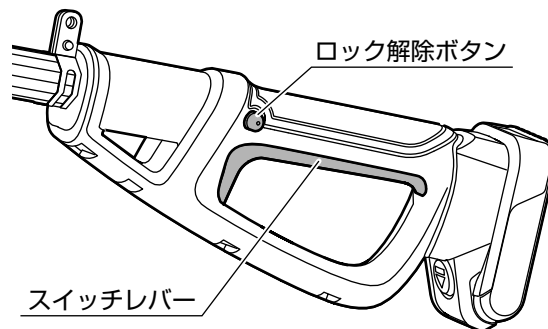
- ❗ ブレードから手や体が離れていることを確認し、各種スイッチを操作するケガの原因になります。

- 1) バッテリーを本体またはポールに取り付ける。
- 2) ロック解除ボタンを押したままスイッチレバーを握る。
 - ・ロック解除ボタンは、左右どちらの方向からでも押すことができます。
 - ・ブレードが動きます。ブレードが動き出したら、ロック解除ボタンから手を放してもブレードは動き続けます。

〈本体〉



〈ポール〉





取り扱いのポイント

- ・数秒の間にスイッチレバーを連続して押したり離したりして、動作させないでください。モーターに負荷がかかり、故障の原因になります。
- 3) スイッチレバーを放す。
 - ・ブレードが止まります。
 - ・スイッチレバーを放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチレバーが握れない状態になります。

運搬する場合には

本機を車両などで運搬する場合には、次のことを必ず守ってください。

⚠ 警告

-  本機を立てて運搬しない
故障の原因になります。
-  本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない
本機が転倒し、思わぬ事故の原因となります。

1) バッテリーを本機から取り外す。

バッテリーを取り付けたまま運搬すると、不意に動き事故の原因となります。


2) ブレードを取り外す。

(17 ページ「ブレードの取り付け・取り外し」参照)




3) ポールを取り外す。

取り外したバッテリーおよび本機、充電器の取り扱いは次のことを守ってください。


⚠ 危険

-  強い衝撃を与えない
水にぬらさない
炎天下の車中など高温になるところ、火気のそば、直射日光の当たるところに長時間放置しない
バッテリーの劣化や漏液が起こる原因になります。

⚠ 警告

-  運搬するときは、ブレードを取り外すケガの原因になります。
-  ボルト、針金、金属工具などがバッテリーおよび本機、充電器に触れないようにする
一緒に持ち運ぶなどするとバッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。
-  バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける
放置すると液により、目に障害を与える原因になります。

⚠ 注意

-  バッテリーが漏液して液が皮膚や衣服に付着した時は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれるなどのおそれがあります。

- 4) バッテリーおよび本機、充電器が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載する。

定期点検を行いましょ

本機を安全に、かつ快適にご使用いただくために定期点検を行ってください。

点検の結果、異常があった場合は本機を使用しないでください。

・点検をするときは参照ページを確認しながら、ケガのないよう注意して行ってください。

部位	項目	時期		参照ページ数
		作業前 作業後	作業中	
各部	ネジ、ナット類のゆるみ点検	●		—
	割れ、欠け、変形、摩耗、損傷などの点検	●		—
操作部	作動確認	●		18
ブレード	正しい作動、がたつきがないかの点検	●	●	17

切断をする

服装について

作業中は本機の動く部分に巻き込まれるなどケガをするおそれがあります。

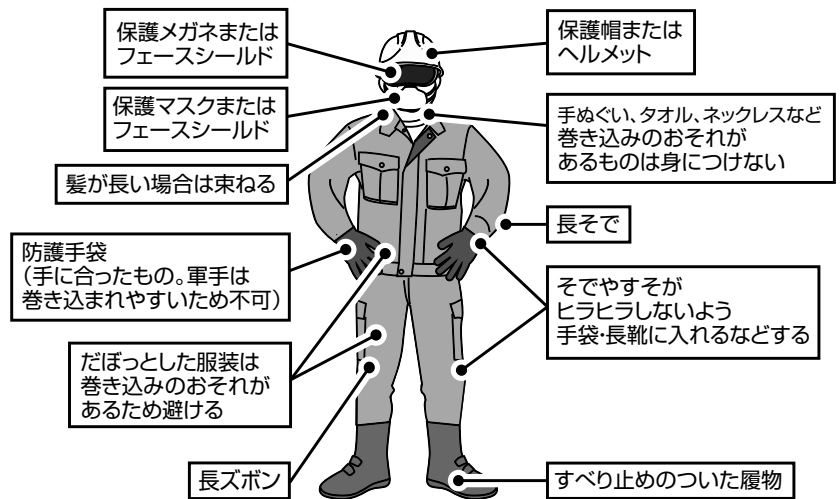
次のような安全な服装で作業を行ってください。

※保護マスクなどは付属していません。別途ご用意ください。

⚠ 警告



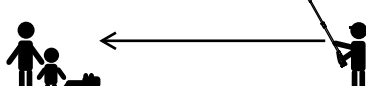
作業時は保護メガネを使用する。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用する。目やのどに傷害を受けるおそれがあります。



切断時のチェックポイント

❗ 作業場所付近に、電線などがないか作業前に十分確認する
誤って切断すると、感電のおそれがあります。本製品は感電防止の絶縁処理はなされていません。

❗ 他人や動物から十分な距離をとる



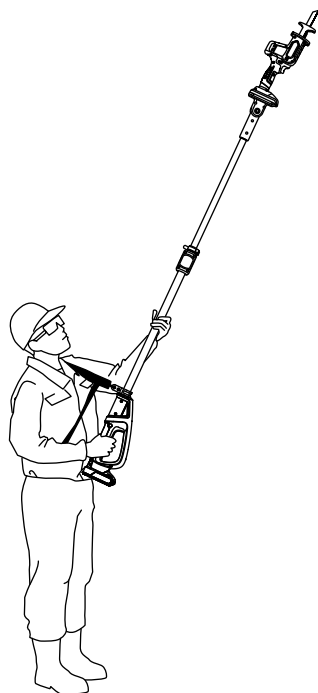
❌ めれた物を切らない、雨の中で使わない

❌ バッテリーを取り付けたままスイッチレバーに指をかけて連ばない

❗ ガラス窓や車など、傷をつけたくない物が近くにないか確認する
切断した枝でガラスが割れたり、傷がついたりするおそれがあります。板などで養生するか、移動させるなどしてください。

❌ はしご・脚立の使用、または木に登るなど不安定な姿勢で使用しない

❗ 作業中にブレードが木に挟まれたときは、スイッチレバーから手を離し、クサビを使用するなどして安全に本機を取り外す



❗ 安全な避難場所および退避ルートを確保する

❗ 曲げられている枝、掛かり木、裂けている木などを切断するときには、跳ね返りに注意する(できるだけ十分な訓練と経験を積んだ専門者に依頼すること)

❗ 作業中は枝の落ちる場所に注意する

❗ 枝が落ちるときは周囲に警戒の合図を行い、スイッチレバーから手を離し安全な場所に避難する

❗ 以下を総合的に判断し切断した枝が落ちる場所、作業者の立ち位置を決める
・切断する枝の状態(曲がり具合、枝の張り具合、つる・枝がらみなど)
・周囲の条件(隣接する木や枝の状態、障害物の有無、地形、風向きなど)
・切断する枝の真下に立つことを避ける
・傾斜地では切断した枝が転がらないことを確認の上、常に山側に立って作業する

切断をする

作業前・作業中の点検

20 ページ「定期点検を行いましょう」の表のうち、「作業前」「作業中」に「●」がついているものは、すべて行ってください。

連続使用について

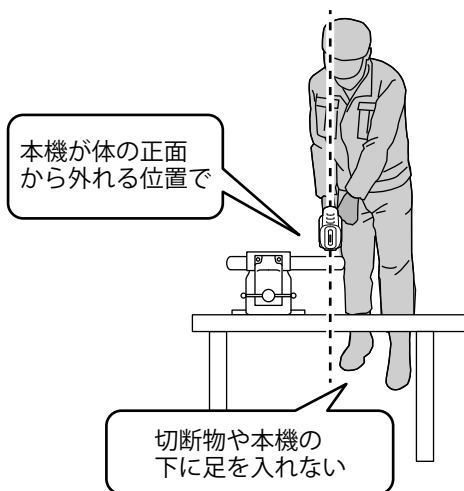
目安として、満充電のバッテリーを1回使い切る毎に、20分程度の休憩をとってください。その際、本機とバッテリーは日陰に置き冷ましてください。熱による本機、バッテリーへのダメージを防ぎます。

取り扱いのポイント

- ・連続して作業を行うと、温度保護回路が働き、自動停止することがあります。
本機を十分に冷まして温度が下がれば使用することができます。

切断のしかた

正しい持ち方とポイント



警告

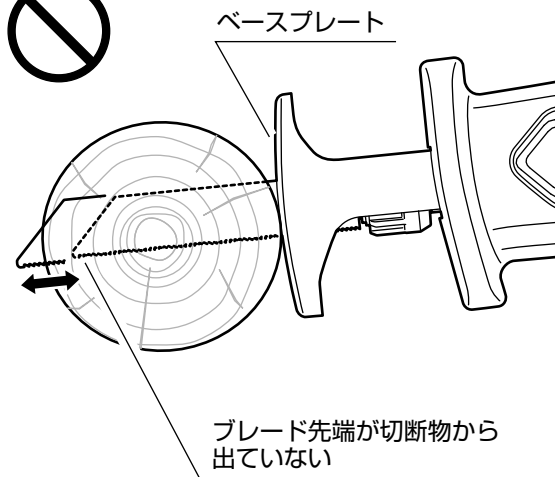
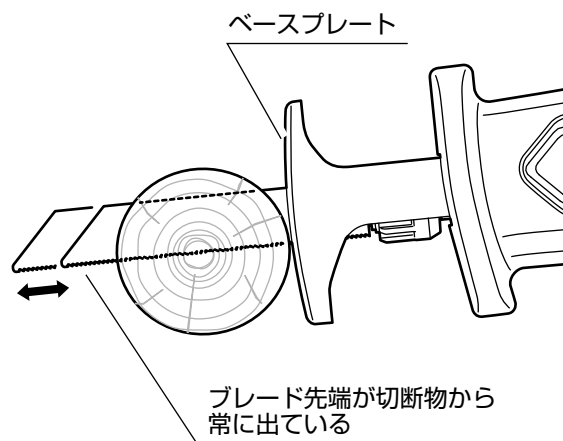


正しい持ち方を守る



ブレードの先端が常に切断する材料から出ている状態を使用する

ブレードの先端が切断する材料に当たって、ブレードが折れるおそれがあります。



注意



切断するときは、ベースプレートから切断する材料を離さない

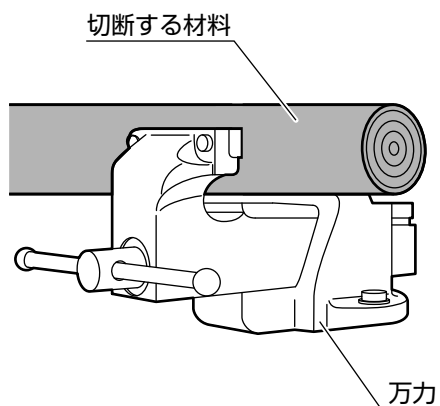
ブレードがひねられるような切断をしない

ブレードが折れるなど、ケガの原因になります。

切断をする

切断をする

1) 切断する材料を万力などでしっかり固定する。



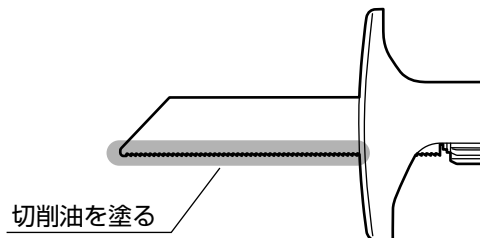
2) 切断する材料にブレードとベースプレート当てる。

3) 切断する。

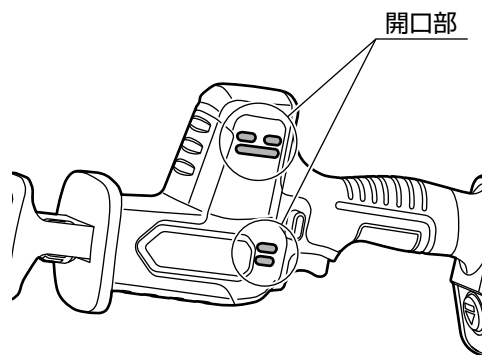
(18 ページ「スイッチの操作方法」参照)

注意

! 金属を切断するときは、ブレードに切削油を塗布し、必ず手袋をする。熱い切粉によりケガのおそれがあります。



⊘ 開口部を塞がない。過熱による故障やケガの原因になります。



⊘ 材料を切り終わる際は、必要以上に力を加えない。切り終わる際に切断時と同様の力を加え続けると、ブレードが作業者に当たりケガをするおそれがあります。切り終わる際は力を緩め、注意して作業をおこなってください。

取り扱いのポイント

・庭木を切断するときは、できるだけ枝が動きにくい状態にしてください。ブレードと枝と一緒に動き、枝が折れるおそれがあります。

使用後は

使用後の手入れ

⚠注意



金属部が冷えていることを確認してから作業を行う

金属部が高温のまま作業を行うと、ヤケドのおそれがあります。

1) バッテリーを本機から取り外す。

バッテリーを本機に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

2) ブレードを取り外し、汚れを拭き取る。

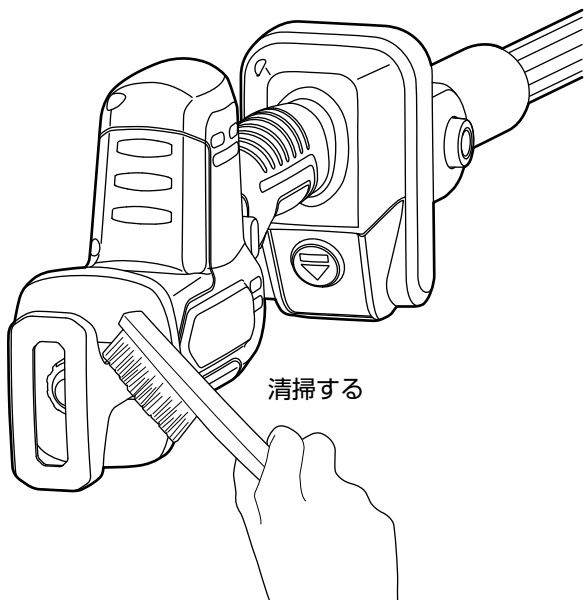
(17 ページ「ブレードの取り付け・取り外し」参照)

ブレードとチャックに油を軽く塗布しておくことで錆びにくくなります。

3) 各部に付いた切粉やゴミを清掃する。

取り扱いのポイント

- ・ ブレード取り付け部周辺はブラシまたはエアで切粉やゴミを取り除いてください。



- ・ 清掃をするときは乾いた布か水で湿らせた布できれいに拭いてください。
- ・ 水をかけて洗わないでください。
故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。
変色、変形、ひび割れの原因になります。

4) 作業後の点検を行う。

(20 ページ「作業前／作業後の点検」参照)

5) バッテリーを充電する。

バッテリーの劣化を防ぎます。

保管

1) 前項の「使用後の手入れ」をすべて行う。

2) バッテリーが本機またはポールから外れていることを確認する。

3) 本体をポールから取り外す。

4) ポールの長さを最も短くし、伸縮ロックレバーでロックする。

5) 本機、バッテリー、充電器ともに次のような場所を避けて保管する。

- ・ 乳幼児、子どもの手の届く所や簡単に持ち出せる所
- ・ 熱源のそばや、真夏の閉め切った自動車内など高温になる所
- ・ 湿気の多い所
- ・ 温度や湿度の急変する所
- ・ 直射日光の当たる所
- ・ 揮発性物質の置いてある所

⚠注意



本機を立てて保管しない
故障の原因になります。

保守・点検について

長期保管のときは

バッテリー保護のため、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。また、その後も1年に1回は充電してください。

⚠ 警告

- ❗ 点検の際は、バッテリーを本機から取り外す
本機が誤始動し、ケガの原因になります。

⚠ 注意

- ❗ 切れ味が悪くなった場合はブレードを新品に交換する
モーターに負荷がかかり、故障の原因になります。
- ❗ ブレードは穴も点検し、摩耗しているときは新品に交換する
作業中に外れ、事故やケガの原因になります。



「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

★：お問い合わせの多い項目

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ数
本機が動かない	バッテリー残量が少ない	充電を行う	12
	バッテリーが取り付けられていない	バッテリーを確実に取り付ける	13
	★本機またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	本機またはバッテリーを風通しの良い日陰などに置くなどして冷ます（水にぬらさない）	11
	★過負荷により本機が高温になっている	本機の動作を止めて過負荷の原因を取り除いた後、本機をいったん冷ます（水にぬらさない）	—
	スイッチレバーを深く握れていない	スイッチレバーをカチッと音がするまで握る	18
	スイッチレバーを握れない	ロック解除ボタンを押しながら握る	
	充放電を繰り返し、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する（バッテリーの寿命）	11
部品（モーター、スイッチ等）が故障している	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください	—	
ヘッドの角度が変わらない	ヘッド角度調節ボタンを押ししていない	ヘッド角度調節ボタンを押しながらヘッドの角度を変える	18
切断に時間がかかる	ブレードが摩耗した	ブレードを交換する	17
充電に時間がかかる	バッテリーの温度が低い	バッテリー温度が低いと充電しにくいことがあるため、充電は使用環境温度が5～40℃の範囲で行う	12
	バッテリー保護機能が働いている	そのまま充電を続ける	—
充電ができない：充電器のランプが、緑点灯から赤点灯に切り替わらない	★充電器またはバッテリーの温度が高い（使用状況、または炎天下の自動車内に保管したことなどによる）	充電器またはバッテリーを風通しの良い日陰などに置くなどして冷ます（水にぬらさない）	12
	バッテリーが充電器の奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む	
充電ができない：充電器のランプが消灯のまま	充電器の電源プラグが奥までしっかりさし込まれていない		お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください
	バッテリーまたは充電器が破損している ※		

※ 破損の原因になる例

炎天下の自動車内など、著しい高温または低温にさらした／金属などが端子にふれた／水または火、揮発性の物質などにふれた／落下による衝撃／液もれなど。

主な仕様

本体

機種名	SRS-180W
製品名	充電式 2WAY レシプロソー
用途	枝・高枝・木材・合成樹脂・金属の切断
モーター	ブラシモーター
電圧	DC 18 V
ストローク数	約 2300 min ⁻¹
ストローク	約 20 mm
★使用時間（無負荷）	約 30 分
最大切断径	木材 約 φ 60 mm / パイプ約 φ 50 mm
本体サイズ 長さ×幅×高さ	459 × 79 × 151 mm
製品重量 ※ ³	1.7 kg
ポール取り付け時 長さ	約 1630 ~ 2130 mm
ポール取り付け時 重さ	3.0 kg

バッテリー

機種名	PA-332
製品名	18V バッテリー (2.0Ah)
種類	リチウムイオンバッテリー
★充電時間 ※ ⁴	約 60 分

★部分は【PA-332】18V バッテリー (2.0Ah) (SRS-180W に標準付属) を使用した場合の数値です。
【PA-380】18V バッテリー (2.5Ah) を使用した場合は次のようになります。
使用時間 (無負荷) : 約 35 分
充電時間 : 約 75 分

充電器

機種名	PA-430
製品名	18V 急速充電器 II
入力電圧 ※ ⁵	AC 100 V
入力周波数	50 - 60 Hz
入力電力	50 W
出力電圧	DC 21.5 V
出力電流	DC 2.0 A
使用環境温度	5 ~ 40 °C

- ※1 交換の際は、必ず指定のものをご使用ください (3 ページ「パーツのご注文は」参照)
- ※2 1 充電あたり。実使用では木の種類や刃物の状態によって異なります。
- ※3 バッテリーなど付属品を含みます。
- ※4 気温やバッテリーの充電残量などにより異なります。特に長期保管後は長くなることがあります。
- ※5 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用したりしないでください。
発熱・火災のおそれがあります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

保証書

持込修理

レシートまたは
販売証明書と共に
保管してください

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。商品と本書をお持ちいただき下記の「工進修理受付窓口」へ修理をご依頼ください。

保証期間経過後の修理などについても下記の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

機種	充電式 2WAY レシプロソー SRS-180W		*お買い上げ日		年 月 日
保証期間	お買い上げより1年間		* 購入店	〒	
お客様	*お名前			住所	
	*ご住所	〒 電話 ()	店名	電話 ()	

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。

- 〈イ〉 使用上の誤り、改造、不当な修理、工進指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷。
- 〈ロ〉 お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
- 〈ハ〉 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障または損傷。
- 〈ニ〉 家庭用以外（業務用など）に使用された場合の故障または損傷。
- 〈ホ〉 本書のご提示がない場合。
- 〈ヘ〉 本書にお買い上げ年月日、お客様名、購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 〈ト〉 付属品、消耗品は有料修理となります。

〈チ〉 車両、船舶などに取付された場合に生ずる故障または損傷。

- 2. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 3. この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。（一部商品を除く）
- 4. 本書は日本国内についてのみに有効です。
- 5. 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、営業損失など）は補償いたしかねます。

株式会社 **工進**

京都府長岡京市神足上八ノ坪 12

お問い合わせ

お問い合わせの際は、

- 型式(下図参照)、
- お買い上げ年月日、
- 故障状況 など

をお知らせください。

※本体または梱包箱に貼付しています。
一部ラベルのない商品もございます。



株式会社 **工進**




〒617-8511
京都府長岡京市神足上八ノ坪12

<http://www.koshin-ltd.co.jp>

■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは

購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは……工進修理受付窓口へ

電話  **0120-987-386** 平日: 9:00~17:00

会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

■ ダイレクト修理 ※北海道・沖縄を除く



①お電話またはメールで連絡



②修理品をお預け
(宅配業者が取りに
伺います)



③センターで
修理



④ご自宅まで
お届け



⑤お支払いは
クレジットカード
または代引き

■ 製品に関するお問い合わせは……お客様相談窓口へ

Q&A
Eメール お客様
サポートページ▶



Eメール pump@koshin-ltd.co.jp

電話



キョウトのコーシン
0120-075-540

平日: 9:00~17:00

会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。